

創立50周年に向けた特集企画です。
学園の歴史やエピソード、記念事業や後援会活動など
「50周年カウントダウン」のなかで、お知らせしてまい
ります。ご期待ください!

50周年カウントダウン

私の新人時代 ~平瀬戸先生に聞きました

当時はまだ中学校
が開校されておらず、
小学校・音楽教諭の
担当として教師生活
がスタートしました。



北原キヨ先生は毎日多忙の中、よく時間を割いてくださり教師の心構えや教育論を繰り返しお話しされました。中でも印象深かったことは芸術面における情操教育の重要性を強く持たれ、何千万円もするオーケストラの楽器類を揃えてくださったことです。

ある日の業間音楽、私の指揮をご覧になり「先生ね、指揮が下手。子どもたちの心に全く気持ちが伝わっていないじゃないの。自分の指揮を鏡で見て勉強しなさい。」とキヨ先生にその場で助言をいただきました。新人教師としてはかなり意気消沈したことを詳細に記憶していますが、あの時の言葉はきっと「一人前の音楽教師として十分力をつけなさい」との愛情深く教諭してくださったものと感謝しています。

学園は半世紀を迎えますが、唯一無二の「生活療法」は未来永劫に引き継がれることを切に願うばかりです。

後援会記念行事
後援会では、会長会を中心として様々な記念行事を企画しています。保護者やOB/OGの皆様からのご支援を頂ながら盛り上げていきたいと考えています。
~各事業の内容は現時点では素案であり、今後途中経過等も本紙で取り上げて参ります。

1. 記念文集の編集

これまで50年間行われてきた保護者の活動を紹介します。

2. 記念グッズの販売

50周年を盛り上げるグッズを制作。各園校の授業、学園の各イベントで使用できるよう企画し、収益については学園に寄付することを想定。

3. 記念講演会の開催

学園創設時の思い出とこれまでの歩み、将来の夢を語る企画。

4. 襷リレーの実施

園児/生徒、先生、保護者、OB/OG、学園を支援する方々で襷をリレー。一ポストン東とも襷を繋ぐほか、学園への寄付を目指したチャリティrunも企画。

サマーキャンプ参加者募集 記念グッズアイデア

今年度もむらさき会会員子弟のサマーキャンプへの「有志の『かき氷隊』」を募集いたします。サマーキャンプで頑張っている子ども達に、『美味しいかき氷』を振舞います。今年は二年ぶりに河口湖となります。夏のひと時を我々は子ども達と一緒に過ごしませんか? もちろんOB保護者、むらさき会員以外の保護者の皆さんの参加も大歓迎です。日程は8月21日~22日(かき氷当日(22日)だけでもOK)。詳しいことや参加表明は、7月20日くらいまでに下記アドレスにお願いいたします。

ご存知の通り来年度は東学園創立50周年を迎えます。後援会では50周年を記念して思い出に残るグッズを作りたいと計画しています。そこで後援会の皆さんに「こんなのはいかがだろうか?」「こんなものが良いかな?」というご意見を広く募りたいと考えています。例えば、学校の授業で着用が出来るTシャツやポロシャツ。ランチョンマットやランチセット、マグカップ等々。収益金はもちろん学園に寄付いたします。奮ってご意見をお願いいたします。 募集期間は6月30日まで。

サマーキャンプお助けカキ氷隊長 記念グッズ担当 大槻(高専2、中2) t.otsuki@anshinlife-lp.jp

編集後記

今年度第一号はいかがでしたか?
各園校に入園入学されたお子様も学園生活になれ、楽しく過ごされているようですね。
学園もいよいよ創立50周年記念事業に向けて本格的に動き出しました。
みんなで盛り上げていきましょう。(I)

- 編集委員会(編集スタッフ)
- | | | |
|------|--------|------------|
| 高等専修 | 山莊 陽子 | 前原かおり |
| 中学校 | 高田 ひろみ | 竹中真知子 |
| 小学校 | 石原 雅弥 | 大河原ひろみ |
| 幼稚園 | 竹中 雅子 | 黒田菜津美 |
| 高等専修 | 松田 直基 | 大槻 敬 家住 隆士 |
| 中学校 | 内藤 忠男 | 青柳 博行 |
| 小学校 | 松井 幹和 | 咲間 全雄 |



武蔵野東学園 連合後援会だより



みなさんこんにちは、「連合後援会だより」本年度Vol.1をお届けします。
ブレ50周年となりますが、息切れしないよう適度に…いやいや、やはり全力投球で盛り上がっていきましょう。(M)

絆 紬 統

武蔵野東学園は来年度、50周年を迎えます。
年度のテーマは2011年度は「絆」、2012年度は「紬」。今年度は「統」です。絆をつむぎ、50周年の前年に学園に集めていき、糸が充ることとなりますように。

平成25年度連合後援会総会報告

去る4月23日(火)北原記念館スカラーホールにて、各園校及びむらさき会の会長、役員、後援会会員、保護者、及び学園側からは理事長以下各園校の校長、教頭職他の出席により、連合後援会総会並びにむらさき会総会が開催されました。本会では、①平成24年度の事業・会計報告、承認 ②平成25年度各園校会長、五役選出・承認 ③平成25年度の事業目標・会計予算、承認④各園校役員紹介他が行われました。会長、役員代表の承認をはじめ、全ての議事が滞りなく進み、承認されましたことをご報告いたします。

本紙では、③平成25年度の事業目標についてご紹介いたします。また、後援会長より連合後援会が主催する「50周年記念行事」についてもご案内があり、「詳しくはWeb~」ではなく、最終ページの50周年カウントダウンで取り上げています。

①連合後援会事業目標への協力

- ②子どもを中心とした明るく温かい幼稚園づくりへの協力
- ③保護者の趣味や特技を生かした活動の推進
- ④地域と和やかな関係づくりへの推進
- ⑤MOTTAINAI運動の推進

幼稚園

①連合後援会事業目標への協力

- ②『JoyDay』を含め、会員相互の輪を広げる活動の推進
- ③読み聞かせなど、重点「読書」を支援する活動の推進
- ④MOTTAINAI運動の推進

小学校

①連合後援会事業目標への協力

- ②生命科講演、職業観育成のための後援
- ③私学助成活動への協力

中学校

①連合後援会事業目標への協力

- ②学校行事への保護者の積極的な参加と教育への協力
- ③家庭での親子の対話の充実

高専

①連合後援会事業目標への協力

- ②「すべての会員の子弟は我が子である」を合言葉に会運営の推進
- ③会員相互の理解と親睦を兼ねた行事の開催

むらさき会

- ・むらさき親子運動会 5月18日(土)
- ・保護者会一慰労会-5月18日(土)
- ・保護者会-新年会-平成26年1月18日(土)

連合後援会

- ①創立精神を継承発展させるための活動
- ②連合後援会としての学園創立50周年記念事業の推進
- ③ポストン東スクールとの交流活動
- ④学園後援組織の拡大充実

- ④「可能性をひろげて」の編集発行
- ⑤むらさきOB会との連携(地域ネットワーク等)

東学園に入園・入学して

幼稚園後援会 会長 中村 直久



みなさん、こんにちは。本年度、幼稚園の後援会長を務めさせていただきます中村です。学園には息子(小2)と娘(年長)がお世話になっています。

私の東学園との出会いは、息子の幼稚園入園前の保育見学です。この時、三つのことに感動しました。一つ目は、すれ違う園児達の挨拶がはきはきしてとても元気がよかったこと。二つ目は、園庭で自閉症児と健常児が区別なく仲良く遊んでいたこと。三つ目はその子達を見守る先生方がとても温かく、教育熱心と感じたことです。見学会終了時、「是非とも息子を入園させたい」と願ったのを覚えています。

来年は創立50周年を迎えることもあり、本年度の後援会活動は例年に増して活発になるものと思われます。微力ではありますがお手伝いをさせていただきたいと思っておりますので、一年間どうぞよろしくお願い致します。

小学校後援会 会長 吉田 行郷



小学校の後援会長を務めさせていただきます吉田です。

東学園のことは、現在、東中2年に在籍する長男のために入園先を探していた時に、妻がインターネットで見つけてくれたことで知りました。私は30歳になるまで武蔵野市内に住んでいましたが、不覚にも、それまで東学園のことを知りませんでした。

初めて見学した時に、「こんな素晴らしい学校が、こんな身近なところにあったなんて!」ととても驚いたのを昨日のこのように覚えています。

それから11年、お陰様で、小6の娘も含めて子供達2人をこの学園に通わせることができたばかりか、私まで、幼稚園から中学校までの父親イベントを通じて、第2の学園ライフを楽しませてもらっています。今年も、皆さんと一緒に楽しく、子供達や先生方をサポートしていければいいなと思っています。

会長挨拶

～東学園との出会い～

小学校後援会 副会長 有田 誠



みなさん、こんにちは。小学校後援会副会長を務めさせていただいております、有田と申します。武蔵野東学園に、娘(中3)と息子(小6)がお世話になっています。

東学園との出会いは、かれこれ7年前に遡ります。当時ボストンに居りました私たちは、住み慣れた地を離れ、日本で子供たちを安心して育てるための環境を求めて東学園を志望し、幸いにも二人揃って入学することができました。入学に先立ち、国際電話での問い合わせや、一時帰国で学校見学に伺った際に、とても丁寧かつ思いやり溢れるご対応にいたく感動したのを覚えています。

それ以来、東学園の暖かい環境の中で心のこもったご指導のもと、伸び伸びと成長する子供たちの姿に目を細めております。また、東学園を通して知り合った保護者の方々とも楽しくお付き合いさせていただいています。今年も先生や保護者の皆様との絆を大切に、子供たちが明るく安心して暮らせる環境をサポートしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

中学校後援会 会長 むらさき会 副会長 大槻 敬



こんにちは! 中学校後援会会長・むらさき会副会長を務めさせて頂く大槻です。

高専2年の息子が3歳時健診にて広汎性発達障害と診断を受け、療育機関に通いだしました。その療育機関で一緒になった方から「武蔵野東小学校に見学に行った」との話を聞いたことが、我が家と東学園との出会いでした。年長で東小でサマープログラムに参加。このプログラムの参加は、我が家にとって衝撃的でした。

今まで友達に世話をしてもらっていた息子が同世代のお子さんのトイレの世話をしたり、指導通りに「鯨の絵」を描いてみたり・・・。妻からその様子を聞いた驚きと、その指導にワクワクした気持ちを、今でもよく覚えています。

その後小学校受験を経て、今でも高専に元気に通っています。3歳下の中2の娘も同時に幼稚園に入園。娘は休むことなく毎日学校を楽しんでいます。もちろん、私もエンジョイや親父の店、保護者ラグビー部で子ども達と同じく東ライフを満喫しています。今年一年宜しく願いいたします。

高等専修学校後援会 むらさき会 会長 臼井 周平



本年度、高専・むらさき会会長を拝命した臼井です。

子供達が東学園にお世話になって15年目となります。この間、体が小さく泣き虫だった息子は、私の背を超え陸上部で体を鍛える高3男子に、そして、小さい頃から兄思いだった娘は、絵と歌が好きな中3女子に成長しました。

・・・今回のテーマ「東との出会い」について・・・それは息子の幼稚園選びにまで遡ります。武蔵野で授かった子を、東幼稚園に体験入園させましたが、願書提出直前になって「多動、こだわり、発語なしで自閉的傾向」との診断を受けました。途方に暮れながら改めてパンフレットを読み直したら、「あれ? 東幼稚園って自閉児のクラスもあるんだ・・・混合教育って言うんだ・・・」と、運命的な出会いでした。

あの日から長い月日を経て、娘が「自閉の子がない学校なんて想像できない」と口にするようになり、改めて東の魅力を感じました。その学園も、来年はいよいよ創立50周年を迎えます。連合後援会では様々なイベントを企画、私は「禪リレー」の担当です。人と人との繋がりや絆を大切に、楽しんで盛り上げていきたいと思います。「親も楽しめる学校、親だからこそ楽しめる学校」それが東です。皆様、よろしくお願い致します。

幼稚園

『泣いて登園、笑顔で帰宅』の幼稚園生活が始まって1ヶ月。

次第に、先生との絵本を楽しみにしたり幼稚園での出来事を話したりするようになり、少しずつ息子の生活態度に変化が現れ始めました。

それまでは何でも「ママやって」「ママと一緒に」が口癖で、うまくいかない泣いて怒っていた息子。それが、自分から物事に取り組み、黙々と試行錯誤するようになったのです。それでもうまくいかないと「ちょっと手伝ってくれる?」と冷静に助けを求められるようにもなりました。

幼稚園が始まって、先生方やお友だちのお母様などたくさんのあたたかい眼差しに守られていると感じたからこそ、自信を持って根気よく身近な事に取り組めるようになったのでしょうか。これからどんな成長を見せてくれるのかとても楽しみです。(年少0)



中学校

この春、娘はあこがれの武蔵野東中学校に入学しました。これから始まる新しい生活に、親の方が緊張していましたが、入学式の日に行われた新入生歓迎会を拝見し、安心感でいっぱいになりました。

むしろ、こんなに楽しそうな中学校なら、自分が通ってみたかったと思ったほどです。

娘はすぐに中学校生活に慣れ、新しい友だちもたくさんできました。毎日、楽しかった中学校の話でいっぱいです。娘のマシガントークを、家族みんなで聞きながら夕飯を食べるのが、我が家の日課になりました。そして、自主学習もよくやっています。ノートを見ると、先生のコメントがところどころにあり、こんなに手厚く見ていただける学校は他にはない!と、びっくりいたしました。

東中学校に通えて、娘は本当に幸せだと思います。どんな楽しい3年間を送り、東学園を巣立っていくのか、今から本当に楽しみです。(中1S)

JOYDAYへようこそ

みなさん、こんにちは。今年の東小の父親の集まりである“エンジョイ”のリーダーとなりました咲間です。現在、子どもが東小の6B、4B、2Dに在籍しています。どうぞ1年間、よろしくお願いします。

さて、エンジョイが企画する毎年恒例のイベントである“JoyDay”が、今年も6月8日に第1回目として行われます。第1回目のJoyDayでは、日本初の影絵専門劇団である「劇団かかし座」を招待して、最新の影絵劇である「魔法つかいのおとぎばなし」の公演を行う予定です。劇団かかし座は、さまざまなテレビ番組の影絵劇を演出していて、現在は海外公演なども行っているとても人気のある劇団です。また、今回の作品である「魔法つかいのおとぎばなし」は、大人から子どもまで楽しめる内容となっています。JoyDayは、子どもだけでなく保護者の皆様にも一緒に楽しんでいただきたいと思いますので、皆様のたくさんのご参加をおまちしております。

小学校

春、新しい制服に身を包み、B組とC組の双子の息子達の小学校生活が始まりました。兄の障がい発覚時は二人が同じ学校に通えるとは思えなかったため、仲良く並ぶ制服姿は一層感慨深く、東学園に入学できて本当に良かったと胸が熱くなります。

小柄な兄は、ひっくり返るほど重たいランドセルを背負い「よいしょ、よいしょ」と掛け声をかけながら歩いています。苦しくてやり通すことで小学生の自覚と自信がついてきたように思います。活発な弟は上級生と一緒にドッチボールや剣道、英語など何もかも新鮮で楽しく、毎朝一番に登校しています。

クラスは違う二人ですが、今日はお誕生会で〇〇くん会ったよ!〇〇くん校庭で頑張ってるよ!と嬉しそうに報告してくれます。学習面はもちろん、混合教育のもと、体育祭や学園祭などで交流を深め体験を共有し、健やかな東の子に育って欲しいと願うばかりです。(小1S)

高専

とうとうここまで来たんだ、、、。入学式、少し大きめの制服にキリッとネクタイを締め、緊張した様子で入場してきた息子を見て胸がいっぱいになりました。好奇心旺盛で超多動児の手をひいて東学園の門をくぐったのが11年前。あの頃はこんなに落ち着いた姿を想像できませんでした。

何をやるのもどこへ行くのも親子二人三脚。時間をかけて何度も繰り返し、身のまわりの事を教えてきました。そんな彼も自分から「調理コース」を希望し、「部活に入ります!」と張り切っています。新しい環境の中で毎日たくさんの刺激を受けながら元気に過ごしているようです。

まだまだ足りないところだらけですが、社会で生きていく力を一つ一つ確実に身につけていけるよう3年間気持ちを締め付けてサポートしていきます。これからも成長し続けると期待して。(高1S)